

つくば Science Edge 2015 REPORT

創造する楽しさ学ぶ楽しさ

つくば
Science
Edge



中高生国際科学アイデアコンテスト つくばScience Edge2015

開催日時

2015年3月23日(月)～24日(火)

サイエンスアイデアコンテスト／サイエンスワークショップ

場所

つくば国際会議場

- **主催**：つくば ScienceEdge2015 実行委員会
- **共催**：株式会社 JTB コーポレートセールス
- **後援**：茨城県、つくば市教育委員会、つくばサイエンス・アカデミー、文部科学省、独立行政法人科学技術振興機構 (JST)
- **協賛企業・大学**：インテル株式会社、ウシオ電機株式会社、宇部興産株式会社、タンガルーマ海洋教育保護センター、大日本印刷株式会社、株式会社ビクセン、お茶の水女子大学、工学院大学、東京農業大学、東京工業大学、シンガポール政府観光局
- **協力**：独立行政法人 宇宙航空研究開発機構 (JAXA)、日本科学未来館、CYBERDYNE 株式会社、大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構 (KEK)、筑波大学、茨城大学、東京大学サイエンスコミュニケーションサークル CAST ※ 2015 年 4 月 1 日より、独立行政法人は「国立研究開発法人」に変更

【つくば Science Edge2015】開催趣旨

みんなのアイデアが「未来の科学」の扉を開く！

「つくばScience Edge2015 サイエンスアイデアコンテスト」は、
「未来の科学者」の芽を発掘し、育てる試みです。

科学に関するアイデアを世界的レベルの研究者・科学者の前で発表し、
その方々とディスカッションします。

開催場所は、国内外の一流の研究者も研究発表を行う、
指定管理施設 つくば国際会議場。中高生の皆さんが、“本物の空気”に触れながら、
科学に関する興味・関心を深める機会となっています。

2015年は、3月23日(月)・24日(火)と2日に渡って開催されました。

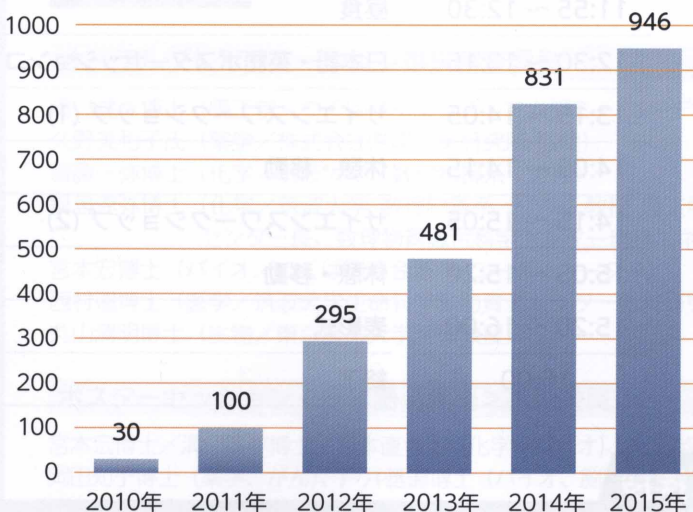
海外からの31名を含む発表者および見学者、協賛企業・大学、研究機関など併せ、
来場者数は総勢946名(2日間のべ)。

科学・技術に関するアイデアを、
オーラルプレゼンテーション、ポスターセッション(日本語・英語)で、
国内44校・海外6校、合計50校(全154チーム)が発表しました。



参加人数推移

※2011年は参考(申込数)



審査委員紹介

オーラルプレゼンテーション発表者とのディスカッションを担当する審査委員は、サイエンスの第一線で活躍する研究者。ポスターセッションも、つくばサイエンス・アカデミー会員の研究者や、最先端の科学を研究する企業の研究者等によって、厳正な審査が行われました。



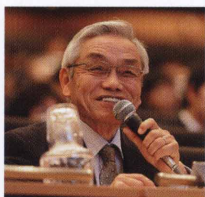
〔物理学／つくば国際会議場館長〕江崎玲於奈博士

東京大学理学部物理学科卒業。ノーベル物理学賞（1973年）、文化勲章（1974年）、米国物理学会国際賞（1985年）などの受賞歴、科学分野における多大な功績を残す物理学者。多岐にわたる業績は、特に現代のエレクトロニクスの基礎を担う半導体物理学分野での極めて重要な成果として、「半導体のPN接合におけるトンネル効果の発見」「半導体超格子概念の提案とその実現」がある。まったく新しい分野を切り拓き、現代の物性物理学全般に大きな影響を与える研究者。



〔冶金学・金属工学〕岡田雅年博士

東京大学工学部冶金学科および大学院博士課程を修了後、1964年に米国エイムス原子力研究所博士研究員。1966年科学技術庁金属材料技術研究所入所、1983年原子炉材料研究部長、1995年所長就任、2001年同定年退官、2005年まで日本原子力研究所特別研究員。独立行政法人物質・材料研究機構 名誉顧問。つくばサイエンス・アカデミー副会長。



〔地学〕小玉喜三郎博士

1966年東京教育大学理学部地学科卒業。1968年東京教育大学理学研究科修士課程修了。1975年理学博士。1998年工業技術院地質調査所長。現在、産業技術総合研究所 特別顧問。



〔生物学〕太田敏子博士

1967年国立予防衛生研究所 厚生技官。1991年より筑波大学基礎医学系講師を経て助教授。1997年筑波大学医療技術短期大学部 教授。2002年筑波大学基礎医学系 教授。筑波大学大学院人間総合科学研究科教授併任。2008年より JAXA 宇宙医学生物学研究室 嘱託。現在 JAXA 宇宙医学生物学研究室 客員研究員。細菌学（感染生物学）や生化学を中心として、黄色ブドウ球菌の研究などに従事。強力な抗生物質であるメチシリンにも耐性を示す院内感染菌 MRSA の全ゲノム解析に世界で初めて成功。



〔数理物質〕宮崎修一博士

1979年筑波大学 講師。1985年米国イリノイ大学 客員研究員。1989年西オーストラリア大学 客員上級研究員を経て、1990年筑波大学 助教授。1997年仏国フランチコンテ大学 客員教授。2009年韓国慶尚大学 WCU プロジェクト客員教授。2014年仏国パリ化学研究所 客員教授。現在、筑波大学数理物質系物質工学域 特命教授。

オーラルプレゼンテーション選抜審査委員

溝口健作博士（膜工学／つくばサイエンス・アカデミー コーディネーター）

久野美和子氏（薬学／株式会社常陽産業研究所 顧問）

齋藤一弥博士（化学／筑波大学 数理物質系 教授）

鍋島達弥博士（化学／筑波大学 数理物質系 化学域 教授 理工学群 化学類長、学際物質科学研究センター長、数理物質融合科学センター環境エネルギー材料研究拠点長）

宮本宏博士（バイオ／つくば国際会議場 コーディネーター）

西村暉博士（医学／筑波大学生命科学動物資源センター客員研究員）

丸山清明博士（生物／東京農業大学客員教授）

ポスターセッション＜日本語・英語＞審査委員

宮本宏博士／溝口健作博士／根本直博士（化学、バイオ）、稲垣英利博士（バイオ、脳科学）、

岡田知子博士（薬学、がん）、戸井基道博士（バイオ、脳科学）、平野和己博士（バイオ）、

須丸公男博士（高分子化学）、中島智彦博士（化学）、南信次博士（物理）以上、独立行政法人 産業

技術総合研究所／荏原充宏博士（化学／独立行政法人 物質・材料研究機構）／市川創作博士（バイ

オ／筑波大学教授）／Brian Landberg氏（細胞生物学／インテル株式会社 シニアエンジニア）／村

本哲哉博士（細胞生物学／日本サイエンスサービス 理事、東邦大学理学部生物学科）／高橋正征博

士（生態学／東京大学名誉教授、高知大学名誉教授）／山口晴代博士（植物生態学／独立行政法人

国立環境研究所）※2015年4月1日より、「独立行政法人」は、「国立研究開発法人」となっております。

審査補助：田中千聡氏、矢野更紗氏（日本サイエンスサービス）

日本語ポスターセッションサポート審査委員：佐藤宏樹さん（茨城大学理学部物理コース4年）、松島

実里さん（茨城大学理学部学際理学コース1年）